

〔平成 18 年度〕
肢体不自由児通園施設

サ ー ビ ス 分 析 シ ー ト
(6 . サービス提供のプロセス)

経営層合議用

作成日 (完成日)	平成	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者 (役職名) (氏名)				

カテゴリー
1.リーダーシップと意思決定
2.経営における社会的責任
3.利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
4.計画の策定と着実な実行
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.情報の保護・共有
8.1～7に関する活動成果

網掛け部がサービス分析シートに該当します

■ サービス分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

- 1 評点は「評価項目」ごとにつけます。「サブカテゴリー」を確認しながら、「標準項目」にはどんな事象が該当するのか合議します。
- 2 「標準項目」を「実施している（またはしくみがある）」と確認した根拠を「確認根拠」欄に記入します。
- 3 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次のすべてを満たした場合です。
(ア 事業者が当該事項を実施していること イ その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること ウ その根拠が示せること)
- 4 「A + の取り組み」とは、標準項目をすべて満たしたうえで、下記のすべてを満たした取り組みです。該当する取り組みがあれば記入します。
(ア 当該評価項目のねらいに合致していること イ 事業所の理念・方針に合致していること ウ 事業所の独自性または現状を改善するプロセスが認められること)
- 5 すべての「標準項目」と「A + の取り組み」を記入した後、評点をつけてください。
評価項目の評点は、次のとおりです。該当する評点を記入してください。
A + : 標準項目をすべて満たしたうえで、A + の取り組みがある状態 A : 標準項目をすべて満たした状態
B : 標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態 C : 標準項目をひとつも満たしていない状態
- 6 すべての評価項目を記入した後に、「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。
・サブカテゴリー 1 ～ 3 及び 5、6 は、サブカテゴリーごとに記述します。
・サブカテゴリー 4 「サービスの実施」は、評価項目ごとに記述します。

カテゴリー 6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリー 1 サービス情報の提供

評価項目 1 保護者等に対してサービスの情報を提供している	評点()	評価項目のねらい ・サービスを選択するための情報ニーズを考慮し、どのように提供しているか ・パンフレットやホームページ等の存在のみを評価するものではない
標準項目	確認根拠	
☐ 1 保護者が入手できる媒体で、保護者に事業所の情報を提供している		
☐ 2 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		
☐ 3 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		
☐ 4 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		
【A + の取り組み】		

サブカテゴリー 1 のコメント

良いと思う点	改善する必要があると思う点

サブカテゴリー 2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目 1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	評点()	評価項目のねらい ・サービス開始時に、保護者の状況に応じた説明をしているか ・十分な説明をしたうえで、保護者の同意を得ているか
標準項目	確認根拠	
☐ 1 サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		
☐ 2 サービス内容や利用者負担金等について、保護者の同意を得るようにしている		
☐ 3 サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		
【A + の取り組み】		

平成18年度 肢体不自由児通園施設版 サービス分析シート

評価項目 2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	評点()	評価項目のねらい ・サービス開始時の環境変化による影響を緩和する取り組みをしているか ・子どもがサービスを終了する場合、子ども及びその保護者の不安を除去しているか
標準項目	確認根拠	
☐ 1 サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		
☐ 2 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している		
☐ 3 サービス利用前の生活をふまえた支援をしている		
☐ 4 サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている		
【A + の取り組み】		

サブカテゴリー2のコメント

良いと思う点	改善する必要があると思う点

サブカテゴリー 3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目 1 定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している	評点()	評価項目のねらい ・支援をするうえで必要な子ども一人ひとりの情報をどのように把握しているか ・子どもの状況に応じたアセスメントの手順や改訂基準が確立しているか
標準項目		確認根拠
☐ 1 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している		
☐ 2 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		
☐ 3 アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		
【A + の取り組み】		
評価項目 2 保護者の希望と関係者の意見を取り入れた個別の療育・支援計画を作成している	評点()	評価項目のねらい ・子どもの様子や保護者の希望をどのように尊重し、計画を作成しているか ・個人の状況に応じた計画となるよう作成し、見直しをしているか
標準項目		確認根拠
☐ 1 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている		
☐ 2 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得ている		
☐ 3 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている		
☐ 4 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している		
【A + の取り組み】		

評価項目 3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点()	評価項目のねらい ・職員が、子どもの状況の変化等をどのように記録しているか ・具体的な支援の内容や子どもの変化等が適切に記録されているか
標準項目		確認根拠	
☐ 1 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある			
☐ 2 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している			
【A + の取り組み】			
評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点()	評価項目のねらい ・子どもに関わる情報を職員間でどのように共有化しているか ・日々の子どもの変化等をどのような方策で共有化しているか
標準項目		確認根拠	
☐ 1 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している			
☐ 2 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している			
【A + の取り組み】			
サブカテゴリー3のコメント			
良いと思う点		改善する必要があると思う点	

サブカテゴリー 4 サービスの実施

評価項目 1 個別の療育・支援計画に基づいてさまざまな取り組みを行っている	評点()	評価項目のねらい ・サブカテゴリー3で策定された計画の記載内容が、どのように実践されているか ・子どもとの十分な意思疎通を基に、自立に向けた支援をしているか
標準項目	確認根拠	
☐ 1 個別の療育・支援計画に基づいて支援を行っている		
☐ 2 子どもの特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している		
☐ 3 機能訓練を担当する専門職員からの情報に基づき、他の職員と協力して訓練等 を提供し、生活に活かすようにしている		
☐ 4 退所後も必要な支援を行っている		
【A + の取り組み】		
評価項目1のコメント		
良いと思う点	改善する必要があると思う点	

平成18年度 肢体不自由児通園施設版 サービス分析シート

評価項目 2 おいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している		評点()	評価項目のねらい ・子どもや保護者の意向を反映した食事提供を行っているか ・子どもの状況に応じた食事介助や環境設定をしているか
標準項目		確認根拠	
☐ 1 子どもや保護者の希望や職員の意見を反映し、バラエティーに富んだ飽きのこない食事を提供している			
☐ 2 食事は子どもの状況に合わせ、提供している			
☐ 3 子どもの状態にあった用具等を用意して介助を行っている			
☐ 4 食事時間が楽しいひとときとなるよう環境を整えている			
【A + の取り組み】			
評価項目2のコメント			
良いと思う点		改善する必要があると思う点	

平成18年度 肢体不自由児通園施設版 サービス分析シート

評価項目 3 子ども一人ひとりの状況に応じて生活上に必要な支援を行っている	評点()	評価項目のねらい ・子どもの状態や希望に応じた身の回りの支援が行われているか ・子どもの安全性に配慮した支援となっているか
標準項目	確認根拠	
☐ 1 排泄の支援は、子ども一人ひとりの健康状況や身体機能に合わせて行っている		
☐ 2 介助は、子どもの安全性に配慮をしながら、不安のないよう声をかけて行っている		
☐ 3 送迎をしている場合には、子どもと保護者の状況に応じて送迎を行っている		
【A + の取り組み】		
評価項目3のコメント		
良いと思う点	改善する必要があると思う点	

平成18年度 肢体不自由児通園施設版 サービス分析シート

評価項目 4 子どもの健康管理・衛生管理について、必要な支援を行っている		評点()	評価項目のねらい ・子どもの状況に応じて、健康を維持する支援を実施しているか ・医療機関との連携を基に、子どもの健康維持策を講じているか
標準項目		確認根拠	
☐ 1 日常の健康チェックが行われている			
☐ 2 服薬管理は誤りがないようチェック体制を整えている			
☐ 3 日常的に子どもの口腔ケアを行っている			
☐ 4 常に子どもの衛生面に配慮し、清潔を保つようにしている			
【A + の取り組み】			
評価項目4のコメント			
良いと思う点		改善する必要があると思う点	

平成18年度 肢体不自由児通園施設版 サービス分析シート

評価項目 5 子どもの意思を尊重し、施設での生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている	評点()	評価項目のねらい ・子どもの意思を尊重し、生活を楽しめるような取り組みを行っているか ・居心地のよい環境設定をしているか
標準項目	確認根拠	
☐ 1 子どもの状況や希望に沿って、生活を楽しめるような取り組みを行っている		
☐ 2 室内は、子どもの状況に応じて快適で落ち着ける環境・空間にしている		
☐ 3 日常生活の介助においては、子どもの自主性を尊重している		
【A + の取り組み】		
評価項目5のコメント		
良いと思う点	改善する必要があると思う点	

平成18年度 肢体不自由児通園施設版 サービス分析シート

評価項目 6 施設と保護者との交流・連携を図っている	評点()	評価項目のねらい ・施設と保護者との関係をどのように構築しているのか ・相互の意思疎通を良くし、信頼関係を築くための取り組みをしているか
標準項目	確認根拠	
☐ 1 必要に応じて、子どもの施設での様子を保護者へ知らせている		
☐ 2 保護者からの相談に対応する体制を整えている		
☐ 3 家族会等の自主的な運営を支援している		
【A + の取り組み】		
評価項目6のコメント		
良いと思う点	改善する必要があると思う点	

平成18年度 肢体不自由児通園施設版 サービス分析シート

評価項目 7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている	評点()	評価項目のねらい ・地域性に応じ、子どもが地域の一員として生活する機会を創っているか ・外出機会の設定やボランティアとの交流のみを評価するものではない
標準項目	確認根拠	
☐ 1 地域の情報を収集し、子どもの状況に応じて提供している		
☐ 2 必要に応じて、子どもが地域の資源を利用し、多様な体験ができるよう支援している		
【A + の取り組み】		
評価項目7のコメント		
良いと思う点	改善する必要があると思う点	

サブカテゴリー 5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目 1 子どものプライバシー保護を徹底している	評点()	評価項目のねらい ・日常の中で、どのように子どものプライバシーの保護をしているのか ・個々の職員のみならず、組織的な対応がされているか
標準項目	確認根拠	
☐ 1 子どもについて他機関へ照会する際、保護者の承諾を得るようにしている		
☐ 2 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている		
【A + の取り組み】		

評価項目 2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している	評点()	評価項目のねらい ・日常の中で、子どもの権利を尊重し、不適切な対応を排除しているか ・子どもの生活習慣等から出る子どもの言動を受け止めたうえで支援しているか
標準項目	確認根拠	
☐ 1 日常の支援にあたっては、子どもの意思を尊重している(「ノー」と言える機会を設けている)		
☐ 2 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している		
☐ 3 虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		
☐ 4 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている		
【A + の取り組み】		

サブカテゴリー5のコメント

良いと思う点	改善する必要があると思う点
---------------	----------------------

サブカテゴリー 6 事業所業務の標準化

評価項目 1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	評点()	評価項目のねらい ・業務の一定水準を確保するため、手引書等を整備しているか ・業務の標準化は、対人援助の単純化や画一化をめざすものではない
標準項目		確認根拠
☐ 1 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		
☐ 2 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている		
☐ 3 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している		
☐ 4 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		
【A + の取り組み】		
評価項目 2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	評点()	評価項目のねらい ・業務の標準レベルを見直す仕組みをどのように確立しているか ・よりよいサービス提供を全体化するため、どのような工夫をしているか
標準項目		確認根拠
☐ 1 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		
☐ 2 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者からの意見や提案が反映されるようにしている		
☐ 3 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる		
【A + の取り組み】		

評価項目 3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	評点()	評価項目のねらい ・職員全体が、一定のサービス水準を確保する取り組みをしているか ・業務の標準化を図るためのOJT等多様な手段を評価する													
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="150 263 1122 316">標準項目</th> <th data-bbox="1122 263 2110 316">確認根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="150 316 1122 384"> ☐ 1 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている </td> <td data-bbox="1122 316 2110 384"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="150 384 1122 453"> ☐ 2 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している </td> <td data-bbox="1122 384 2110 453"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="150 453 1122 521"> ☐ 3 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている </td> <td data-bbox="1122 453 2110 521"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="150 521 1122 590"> ☐ 4 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している </td> <td data-bbox="1122 521 2110 590"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="150 590 1122 659"> ☐ 5 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている </td> <td data-bbox="1122 590 2110 659"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="150 659 1122 812"> 【A + の取り組み】 </td> <td data-bbox="1122 659 2110 812"></td> </tr> </tbody> </table>	標準項目	確認根拠	☐ 1 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている		☐ 2 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している		☐ 3 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている		☐ 4 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している		☐ 5 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている		【A + の取り組み】		
標準項目	確認根拠														
☐ 1 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている															
☐ 2 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している															
☐ 3 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている															
☐ 4 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している															
☐ 5 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている															
【A + の取り組み】															
サブカテゴリー6のコメント															
良いと思う点	改善する必要があると思う点														